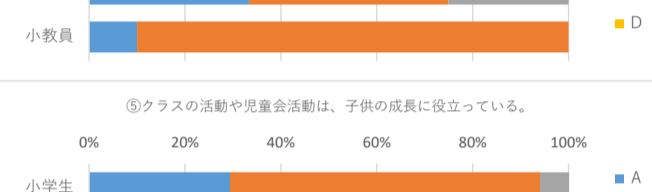
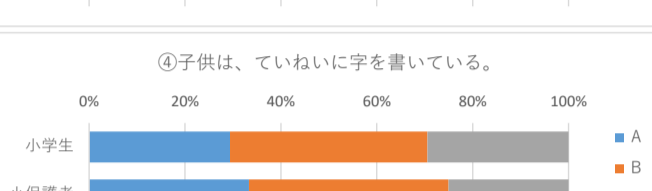
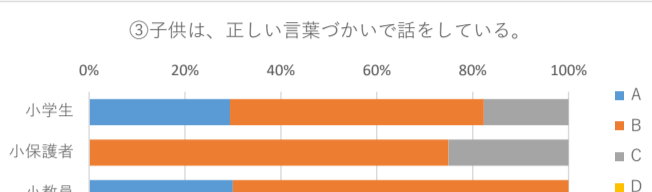
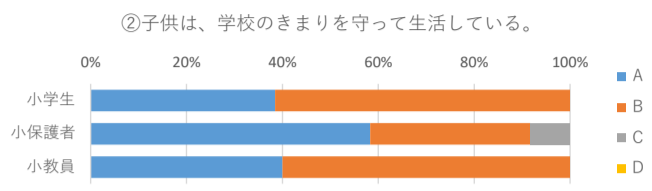
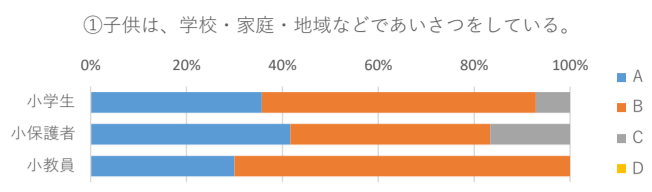


★令和4年度学校関係者評価集計結果★

【A=4：よくあてはまる B=3：あてはまる C=2：あまりあてはまらない D=1：あてはまらない】

(CやDに○をつけたときは、理由や意見を書いてください。)

I 学校生活について		小学生	小保護者	小教員	
①	子供は、学校・家庭・地域などであいさつをしている。	A	36%	42%	30%
児 保 教	外に行かない。	B	57%	42%	70%
	なかなか、恥ずかしいのか、先生のいない所では、挨拶してくれない人に会いたがらない。	C	7%	17%	0%
		D	0%	0%	0%
	② 子供は、学校のきまりを守って生活している。	A	38%	58%	40%
児 保 教	登校の時間がよく分からない家から出ていない。	B	62%	33%	60%
		C	0%	8%	0%
		D	0%	0%	0%
	③ 子供は、正しい言葉づかいで話している。	A	29%	0%	30%
児 保 教	たまにタメ口になる、敬語がわからないから、楽しくて敬語使えていない。	B	53%	75%	70%
	人によるとと思いますが、学校生活で問題なければ良いと思います。親には悪い言葉づかいで話す時もある。	C	18%	25%	0%
		D	0%	0%	0%
	④ 子供は、ていねいに字を書いている。	A	29%	33%	10%
児 保 教	速く書きたいときは、雑になることもある。きれいに書いてもおいつけないずっと字書いていると適当になるていねいに書いている時もあるけどメモなどは、あまりきれいに書いていない。	B	41%	42%	90%
	そもそも字を書けていない。	C	29%	25%	0%
		D	0%	0%	0%
	⑤ クラスの活動や児童会活動は、子供の成長に役立っている。	A	29%	46%	22%
児 保 教	楽しいのはいいけど算数の中で社会に出て使えるの意外とないですね。面積の『ヘクタール』はいつ使うか分からない。	B	65%	54%	78%
		C	6%	0%	0%
		D	0%	0%	0%



考察及び改善策
・概ね良好な結果である。
・個人差がある状況に変わりない。児童が率先して行えるように引き続き日常的に指導を行っていく。

評価 A

考察及び改善策
・概ね良好な結果である。
・地域の実態、活動内容、子供の様子などに即して、柔軟にルール改善を行っていく努力を続ける。

評価 A

考察及び改善策
・場面や児童によって差がある。個別にその場を捉えて繰り返し指導していくなど、日常的に言語環境改善に取り組む。

評価 B

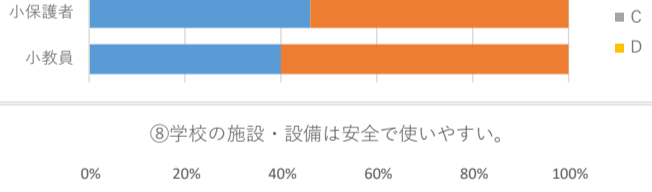
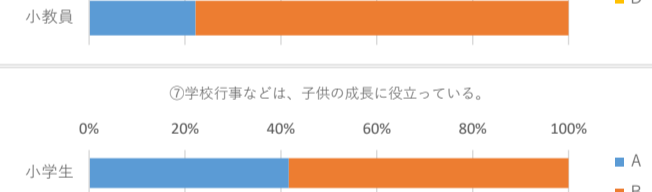
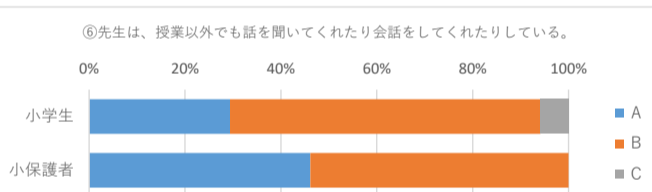
考察及び改善策
・場面や児童により差がある。
・状況に応じた文字の書き方を指導し、文字を丁寧に書く必要感をもちせていく。

評価 B

考察及び改善策
・概ね良好な結果である。
・活動の意義ややりがいを意識させることにより、児童が率先して自主的に行えるように指導していく。

評価 A

児 保 教	⑥ 先生は、授業以外でも話を聞いてくれたり会話をしてくれたりしている。	A	63%	54%	60%
	いい先生。あまり喋らないけど楽しいです。	B	25%	31%	40%
	先生によると思います。子どもが嫌がることもあるから、適度な距離感で、接して欲しい当てはまる先生もいるが、当てはまらない関係性の薄い先生もいる。	C	13%	15%	0%
		D	0%	0%	0%
児 保 教	⑦ 学校行事は、子供の成長に役立っている。	A	42%	46%	40%
	学校行事が自分の成長にどう役立っているのかがよく分からないから。自分に変化が無いように思えるから。	B	58%	54%	60%
	運動会は素晴らしい。移動教室は考えるべき。ワンパターン過ぎるし修学旅行がない分考えるべき。島の子発表会は学芸会に戻すべき。あの発表はいつでもできる。	C	0%	0%	0%
		D	0%	0%	0%
児 保 教	⑧ 学校の施設・設備は安全で使いやすい。	A	29%	33%	50%
	古い建物だからあまり安全じゃないと思います。理科で電気を扱う授業の時、実験器具（電気を通すと鳴るオルゴール等）が壊れていて使えないことがあった。	B	59%	58%	40%
	所々、老朽化が激しい 教室の雨漏りなど。	C	12%	8%	10%
	点検は行っているが、改善は行えないため。	D	0%	0%	0%



考察及び改善策
・概ね良好な結果である。
・どの児童にも公平に声を掛けるよう、日頃から意識して取り組む。

評価 A

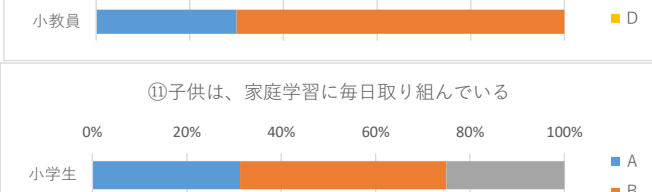
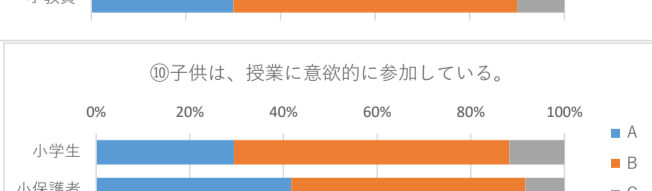
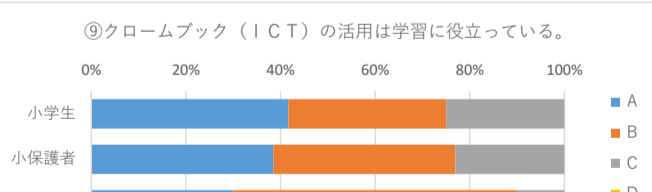
考察及び改善策
・良好な結果である。
・島の子発表会は、普段の学習の発表の場であることへの理解を進めていく。

評価 A

考察及び改善策
・良好な結果である。
・児童が安全に学びやすいように、即時改善を心掛けていく。また老朽化はやむを得ない状況である。修理をしながら使っていく。

評価 A

II 学習について		小学生	小保護者	小教員	
児 保 教	⑨ クロームブック（ICT）の活用は学習に役立っている。	A	42%	38%	30%
	規制が多すぎる規制多いです。	B	33%	38%	60%
	タイピングが苦手成果が分からない家庭では有効なのかどう分からない。	C	25%	23%	10%
		D	0%	0%	0%
児 保 教	⑩ 子供は、授業に意欲的に参加している。	A	29%	42%	30%
	授業つまらないから。手を挙げられないからです。	B	59%	50%	70%
	理解出来ない。分からないと子供に言われると、切なくなる。学校に行っていない。	C	12%	8%	0%
		D	0%	0%	0%
児 保	⑪ 子供は、家庭学習に毎日取り組んでいる。	A	31%	36%	20%
	いつも学校でやっているからおうちの人の言うことを聞かないことが多い。勉強はやってないけれど料理はしています。やらないから塾に行っています。毎日はやってない（休日はやっています！）	B	44%	27%	70%
	ダラダラしてる。宿題はやっている。なかなか難しい。宿題以外は全くやらない。読書もしない。学習していない。	C	25%	36%	10%
		D	0%	0%	0%



考察及び改善策
・クロームブック、学習支援ソフト「すらら」などの活用が進んだ。
・日常的にICTを活用できるように技術向上に努めると共に、モラル指導にも力を入れていく。

評価 B

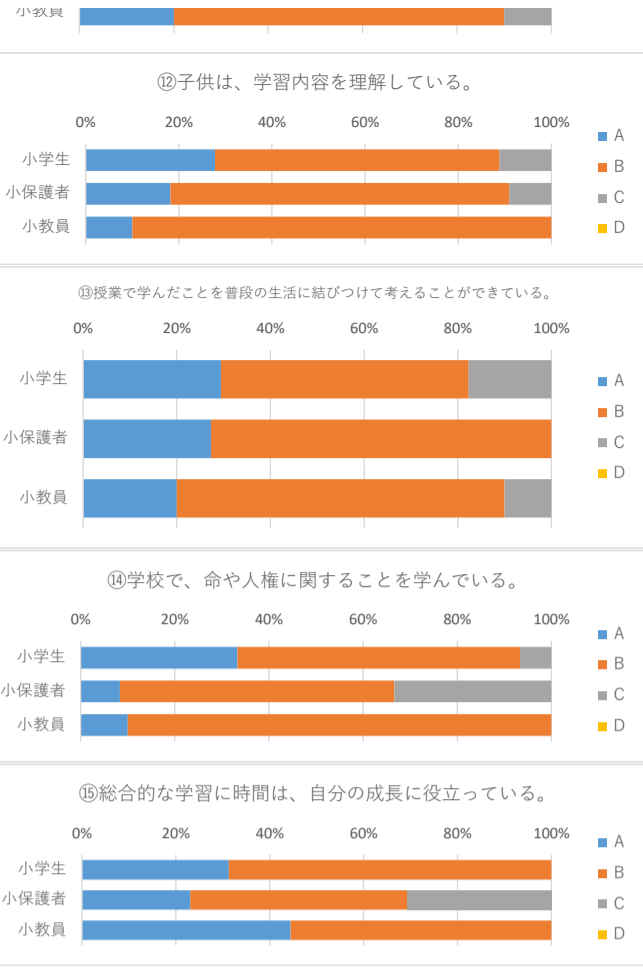
考察及び改善策
・概ね良好である。
・児童の苦手意識を改善できるように個別最適な学習を意識して指導する。

評価 A

考察及び改善策
・少数であることを活用し、個に応じた課題を準備するなど、児童により合った課題が用意できるよう改善していく。

評価 A

教		D	0%	0%	0%
⑫	子供は、学習内容を理解している。	A	28%	18%	10%
児	耳から入って耳から出てく感じ。できる時もあるけどできない時もある。	B	61%	73%	90%
保	教科にもよるが、理解できていない様子です。テストとかを見ると、あまりできてないので、11に同じ。	C	11%	9%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑬	授業で学んだことを普段の生活に結びつけて考えることができている。	A	29%	27%	20%
児	難しく使ってない。普段の生活の中で授業のことを考えることが少ないから考えることができないときもあるが、家庭科とかは家で使えます。英語や社会、理科は生活の中で結び付いたりするけど、算数は生活の中で結びつける事がないから。	B	53%	73%	70%
保	11に同じ	C	18%	0%	10%
教		D	0%	0%	0%
⑭	学校で、命や人権に関することを学んでいる。	A	33%	8%	10%
児		B	60%	58%	90%
保	まだやっていない学習内容や場面によると思うから、回答が難しい。家庭ではよく分からない。	C	7%	33%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑮	総合的な学習の時間は、自分の成長に役立っている。	A	31%	23%	44%
児		B	69%	46%	56%
保	まだやっていない学習内容や場面によると思うから、回答が難しい。家庭ではよく分からない。	C	0%	31%	0%
教		D	0%	0%	0%
⑯	キャリア学習は、自分の成長に役立っている。	A			
		B			
		C			
		D			



評価	C
考察及び改善策	・概ね良好である。 ・授業中は理解できても忘れてしまう。ドリル練習も行い、理解だけでなく学習が身に付くように指導していく。
評価	A
考察及び改善策	・概ね良好だが、児童が活用できることを実感しているとは言えない。 ・学習した成果が実生活に役立ったという体験ができるよう工夫していく。
評価	B
考察及び改善策	・集会や道徳で意識して扱うようにし、命の大切さとともに、協力して生活していく大切さを指導していく。
評価	B
考察及び改善策	・小中9年間の総合的な学習の系統性を作成に基き、郷土理解とキャリア教育に重点を置き、指導を続けていく。
評価	A